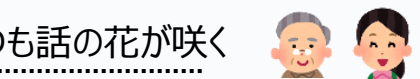


活動の現場から

柏センターの“居場所”には、いつも話の花が咲く



柏センターの事務所が移転し、事務所の隣室で居場所の運営を始めて1年が過ぎました。

火曜日の「街の縁側よってって」木曜日の「ふれあい健康麻雀教室」は人の出入りも多く、大変にぎやかで電話の声が聞こえないほど。その他にもケア者、傾聴ボランティアなど、来るたびに私の所にお喋りに来る方も…旅行に行った話、お孫さんの話、持病や体調の話、たまには愚痴など、皆さんの話で私の仕事が前に進まないことも多々。(笑)



大人気の健康麻雀



よってって終了後の給手紙教室

先日の「よってって」はいつもより混んでいて皆さんが食事をしている中、いきなり後ろから腕をつかまれました。振り向くと前によく麻雀に来ていた方です。「お久しぶりです!最近麻雀に来られないから心配してましたよ!」と言うと、「あまり体調が良くなって、麻雀は無理だ!」とご飯食べに来たのよ、あなたも元気そうね。」何気ないこの会話に私はとてもうれしく、皆さんの居場所になることができていと感じたひと時でした。

花
柏



あみり料理教室より

鮭とジャガイモのパセリバター&和風ラタトゥイユ

鮭(アスタキサンチン)・ごま(ゴマリグナン)・ブロッコリー(スルフォラファン)には抗酸化作用があります。お料理に取り入れて錆びない体に!

★鮭とジャガイモのパセリバター★



<材料>4人分
生鮭…4切れ
塩・小麦粉…少々
ニンニク…1片
バター…大さじ1
パセリ・レモン…適宜
ジャガ芋…2個
スプラウト※…1袋
※ブロッコリーの芽

<作り方>

- ① 鮭に塩を振って5分置き、水分を拭き取り小麦粉をまぶす。
- ② 室温にしたバターにパセリのみじん切りを混ぜておく。
- ③ ニンニクをバター(別量)で炒めて香りが出たら鮭を焼く。
- ④ ジャガイモはよく洗って皮付きのままゆで、切っておく。
- ⑤ ③④を皿に盛り、温かいうちに②を乗せる。根を落としたスプラウト、レモンの櫛切りを添える。

★和風ラタトゥイユ★



<材料>4人分
ニンニク…1片、玉ねぎ…1個、
ズッキーニ…1本、しめじ…1袋
パプリカ…1個、トマト…中2個、
豆苗(飾り用)…少々
ごま油…大さじ2
白だし…大さじ2
塩コショウ適量

<作り方>

- ① 野菜は、すべてひと口大に切っておく。
- ② ごま油で潰したニンニクを炒め香りが立ったら、玉ねぎをしんなりするまで炒める。他の野菜を加え、調味料を加えて汁けがなくなるまで煮る。
- ③ 飾りにカットした豆苗を飾る。

愛犬の特技



10歳の愛犬は息子の弾くショパンが大好き♪聴きつけると一目散に駆けつけ目はキラキラ、しっぽはぐるぐるん。

特に好きなのが「スケルツォ」♪4小節目あたりからよく響く声で高らかに歌い出す。なぜショパンなのかかわからないが、それが楽しくて息子は今日もショパンを弾く♪(M.K)

スタッフのカフェタイム



VAIC-CCI からのお知らせ

- ◆毎月最終金曜日は、いなげビレッジで地域食堂「みんなのテーブル」を開催しています。(要申込 043-290-8017)
- ◆こどもの居場所「3rd プレイス虹」では、こどもを見守るボランティアを募集しています。興味のある方はお問い合わせください。
開催日:毎週木曜日 15:00~17:00(8月はお休み)
場所:いなげビレッジ虹と風
- ◆会費は銀行引落が可能です。ご希望の方はご連絡ください。



特定非営利活動法人(認定NPO法人)
VAICコミュニティケア研究所
【発行責任者:岩上 章子】

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7
【TEL】043-290-8015 【Fax】043-290-8016
【E-mail】info@vaic-cci.jp
【URL】http://www.vaic-cci.jp
2019年7月発行



VAIC-CCI ニュースレター

つなぐ〜る

2019年夏号
vol.39

キーワードは
つなぐ・つながる



10周年を迎え、通常総会が無事終了しました

第11回通常総会開催

2019年6月15日(土)

美浜保健福祉センター大会議室にて



▲理事長あいさつ



▲理事退任の山本さんに新任理事の田端さんが花束贈呈

2009年に「生活クラブ・ボランティア活動情報センター」と「コミュニティケア研究所」が合併して以来、「VAIC コミュニティケア研究所」は設立10年目の総会を迎えることができました。当日は8名もの来賓にご参列いただき、正会員17名のうち16名の参加(委任状1名)のもと、全議案が無事可決されました。

2018年度は大きな事故もなく、剰余を出して終了することができました。2019年度は、生活困窮者支援事業の拡充、こどもカフェ(放課後の居場所)の縮小などへの対応の他、C's cafeは5年目となり今後にむけた検証が必要です。2019年度は、合併登記から10周年を振り返りつつ、2020年からの第4次中期計画策定と併せ、次の10年を展望していきます。

改選期ではありませんが、2名の理事の退任により、田端知江さんが新たな理事として選出されました。

第1号議案	2018年度事業報告・決算報告・監査報告	賛成 15 反対 0
第2号議案	2019年度事業計画・予算計画	賛成 15 反対 0
第3号議案	2019年度 役員報酬限度額	賛成 15 反対 0
第4号議案	2019年度 役員の補充選出	賛成 15 反対 0

総会終了後は2つの企画を開催しました

10年…これまでの取り組み

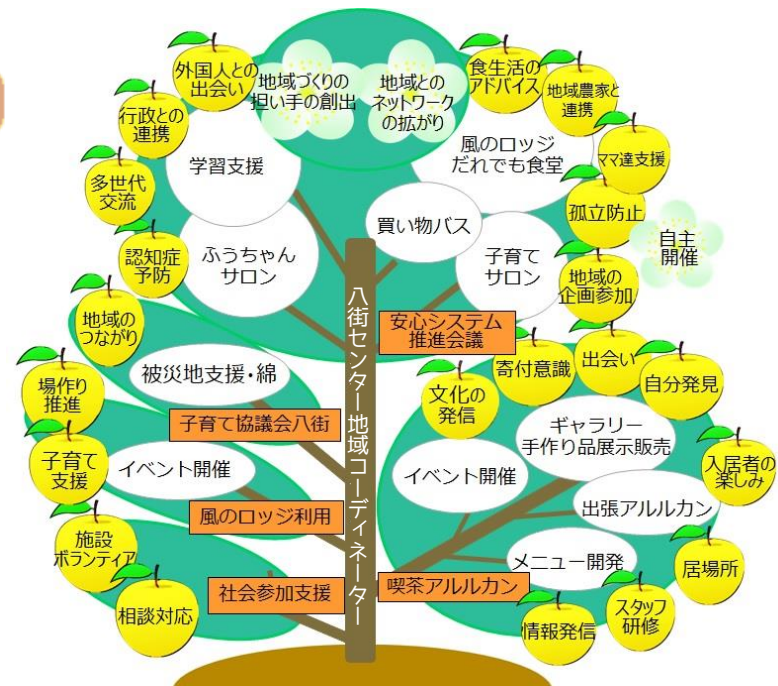
活動を映像でふりかえりました。⇒[詳細次頁](#)

地域コーディネーターの活動報告

第3次中期計画(2017~)から、地域の活性化や担い手発掘の役割を担い、新たに八街・柏・千葉センターに配置された地域コーディネーターの活動報告がありました。

各センターが活動内容や成果をりんごの木で表現し、試行錯誤しながら地域のネットワークを築いてきた様子が報告されました。

⇒右図「八街センターの活動の成果」



VAIC-CCIの

変遷と主な事業

ボランティアコーディネートをを行うたすけあい倶楽部を支える会（VAIC の前身）と外部評価・第三者評価を柱とする CCI が2009 年度に VAIC-CCI として合併登記し、2017 年認定 NPO 法人となりました。

この間現在に至るまで、「その人らしく暮らせる地域づくり」や「地域コミュニティの再生」を掲げ、子育て・子育て支援、多重債務者・生活困窮者支援、権利擁護（後見）、生活支援、喫茶や講座などの居場所づくりなどに取り組んできました。

★生活支援サービス事業

介護保険ではまかなえない支援として、介護保険の認定がおりるまでのつなぎや、介護保険と併用して利用されています。



★生活支援コーディネーター

千葉市稲毛区と柏市光ヶ丘地区で担当。「高齢者の社会参加を通じて介護予防につなげる」介護保険制度の中の役割です。（千葉市は2018 年度で終了）

★ボランティアコーディネート

前身の団体設立当初から継続。高次脳機能障害者の社会参加のための千葉県との協働事業は、現在 C's cafe で開催中の「C's こ～うじのうカフェ」に繋がっています。

★子育てリラックス館 ★一時預かり★託児ケアシステム ★こどもカフェ

地域で子育てを見守るよう千葉市の親子ひろばを、生活クラブ虹の街からは組合員活動時の託児を受託。本部のある生活クラブいなげビレッジ虹と風は、2011 年夏、生活クラブ千葉グループ団体の複合拠点としてオープン。ここでは、一時預かりと、放課後の居場所を運営しています。



★あみいこ

千葉市と柏市で実施する各種講座。地域での顔見知りの関係を作り活動参加につなげていきます。年間のべ約 4000 人が参加。



★地域交流喫茶

特別養護老人ホームの社交の場であり地域の居場所「喫茶アルルカン（ハ街市）」。



★千葉県多重債務者相談 ★生活再建支援相談

多重債務が社会問題となった時期に24 時間 365 日の相談窓口を県から受託。

★外部評価・第三者評価

福祉サービスの運営力の向上と、利用者がより利用しやすくなるための評価を、当初は CCI の事業として千葉県と東京都で実施。また千葉県・群馬県の調査員研修も受託しています。



★生活困窮者支援・貧困連鎖防止

多重債務者支援の取り組みが、2013 年の生活困窮者支援法成立後、県内での家計相談支援事業に繋がりました。また中高生の生活支援を通じて貧困の連鎖防止に取り組んでいます。



★成年後見支援

高齢者や障害のある方の権利擁護の取り組みとして、法人としての後見支援と制度の普及啓発に取り組んでいます。



～在宅でのその人らしい生活を支援する～

生活支援サービス事業

ちょっとした手助けがあれば、
楽に私らしく暮らせるのに



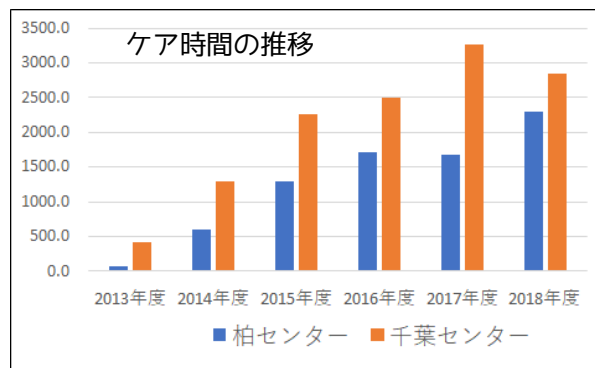
2000 年に始まった介護保険制度、訪問介護やデイサービスの送迎車両を多く見かけるようになりました。高齢者の増加に伴い介護保険制度は今後一層利用が増えるでしょう。しかし一方でその担い手や財源は十分ではありません。そのような中、比較的軽度の要介護者に対応できる介護保険制度以外の支援の需要もまた伸びてきています。

こういった状況をふまえ、VAIC-CCI は千葉・柏の両センターで制度外的生活支援サービス事業を実施しています。千葉は2012 年、柏は2013 年にそれぞれ当初生活クラブ風の村の支援を受けて開始しました。風の村の行う介護事業と組み合わせることで、今後の制度変化にも対応でき、切れ目ない支援をしていくことをめざしたものです。

私たちは開始以降、地域の関係機関の信頼を積み重ね、2018 年度の両センターでの実績は計 5140.5 時間となりました。自宅での生活に不自由を感じ孤立しがちな利用者に対し、その人が望む生活にむけ支援することが自立につながる、と計 30 人ほどの近隣に住むケア者が毎日奮闘しています。また制度外サービスなので、対象は高齢者に限りません。障害のある方や子育てに忙しい方からの依頼もあります。生活クラブ虹の街組合員のたすけあい制度でのケアを受託していたり、千葉センターは千葉市の産前産後の家庭支援のケアも受託し、本来の事業を基盤に支援の幅を広げています。



▲生活支援サービスパンフレット



柏センター

柏市には以前から“困った時はおたがいさま”と気兼ねなく利用できる、住民による非営利のたすけあい団体が複数あり、地域全体で支え合うネットワークづくりを進めています。そのつながりの中から、VAIC-CCI にもケアマネジャーや地域包括支援センター、介護事業者からケアを必要とする方の相談があり、連携して支援しています。「良いケア者さんが来てくださって本当に助かった、ありがとう！」と感謝された時はお手伝いできて良かったなと実感。「ちょっとした手助けがあれば私らしく安心して暮らせるんだけど…」を今後も支援していきます。



私たちが
ケアしています！

千葉センター

私たちの行う生活支援の多くは掃除や調理、買い物代行、お散歩や病院受診同行です。季節によっては草取りや窓掃除もあります。毎月のケア者会議では、「〇〇さんの掃除、どうしてる？」「△△さん最近、落ち込んでるみたい」など情報交換も欠かせません。「認知症の方の体調を考えて訪問時間を変えてみる」「そろそろ季節の衣替えかなと気にして声をかける」「片づけが苦手なお母さんと一緒におもちゃの選別をする」など、ちょっとした声かけや心づかいが、利用者さんやご家族だけでなくケアマネさんにも喜んでいただけているようです。

